



JA兵庫みらい
営農経済部 あぐり創生課
TEL 0790-47-1282
FAX 0790-47-1674
2026. 6月号

園芸 【小豆をつくろう】

小豆は家庭菜園でも比較的育てやすい作物になります。兵庫県の気候においては、6月～7月に種をまき、10月～11月の秋に収穫される小豆の晩生品種群です。

短日感光性を持ち、日が短くなると開花・結実します。大粒で鮮やかな紫赤色の丹波大納言などが代表的で、煮崩れしにくく風味が良いのが特徴です。

ほ場準備・畝づくり…日当たりがよく、水はけが良い圃場を選びましょう。

- * 1㎡あたり堆肥1kgまたはアヅミン40g、苦土石灰100gを全面施用して下さい。
- * 元肥として1㎡あたり大豆用化成550を40g全面施用して下さい。
- * 畦幅140cm程度(中耕作業する機械に合わせて調整)、高さ20cm以上の畝を立てて下さい。

播種(7月中下旬)…雨で播種が遅れないよう排水対策をしましょう。

- * 播種前(10日)ラウンドアップマックスロード(希釈倍率:薬量50～100ml水量10l)を散布して下さい。
- * 播種量1㎡あたり2g。播種深度3～5cm(圃場が乾燥している場合は5cm)。播種密度は条間50cm・株間25cm1穴1～2粒・2条千鳥播きで欠株は早めに追い播きして下さい。(目安は播種から1週間後)

除草(①播種後除草7月中下旬 ②育成期除草8月上旬 ③除草8月中旬)

- ① トレファノサイド粒剤2.5を4～6g/1㎡を散布して下さい。使用時期は播種後～発芽前(目安は播種後4日以内)で、使用回数は1回のみ。トレファノサイドは乾燥していると効果を発揮しないので灌水して土壌を湿らすか降雨後に散布して下さい。
- ② 播種後、2週間頃に条間を割るように中耕をして下さい。
- ③ 本葉4～5枚頃に本葉1枚目まで除草しながら土寄せをして下さい。

防除(①開花初期 ②9月上中旬)

- ① スミチオン乳剤(アブラムシ・マメシクイガ等)1000倍液、収穫21日前までに4回以内。
- ② トレボン粉剤DL(ハスモンヨトウ・カメムシ等)4g/1㎡、収穫14日前までに2回以内。

追肥(8月下旬～9月上旬)

開花初期に1㎡あたり園芸化成2gを施肥して下さい。

収穫(11月中旬)

さやが9割以上茶色に熟すれば、地際で刈り取り畦の上で10日～2週間地干しし、さやの中で子実の音がすれば脱粒。脱粒は子実水分16.5%以下に調整。子実のみの乾燥は直射日光を避けて下さい。

水稲 【田植え後の除草剤について】

6月 水稲作業のポイント

倒伏防止や食味向上：施肥基準に応じた施肥量を施用し、多肥は控えましょう。
初中期一発除草剤を効果的に使う：初中期一発除草剤は、田の水面に溶出した成分が、土壌の表面に吸着され、均一な処理層を形成することで、雑草の幼苗が吸収し効果を発揮します。除草剤を効果的に使用するためには、①水持ち②水深5cm程度の確保③均平が必須条件です



除草剤や箱施用剤など農薬の使用が集中するこの時期に、多くの田から農薬が流出すると、魚介類等の水環境への影響が大きくなる懸念があります。

また、**除草剤の効果安定の為に止水期間を設けることが重要です**。散布後、農薬成分が水田全体に拡散し、土壌に吸着される前に落水やかけ流しをすると効果が薄れる場合があります。

☆**初中期一発除草剤**

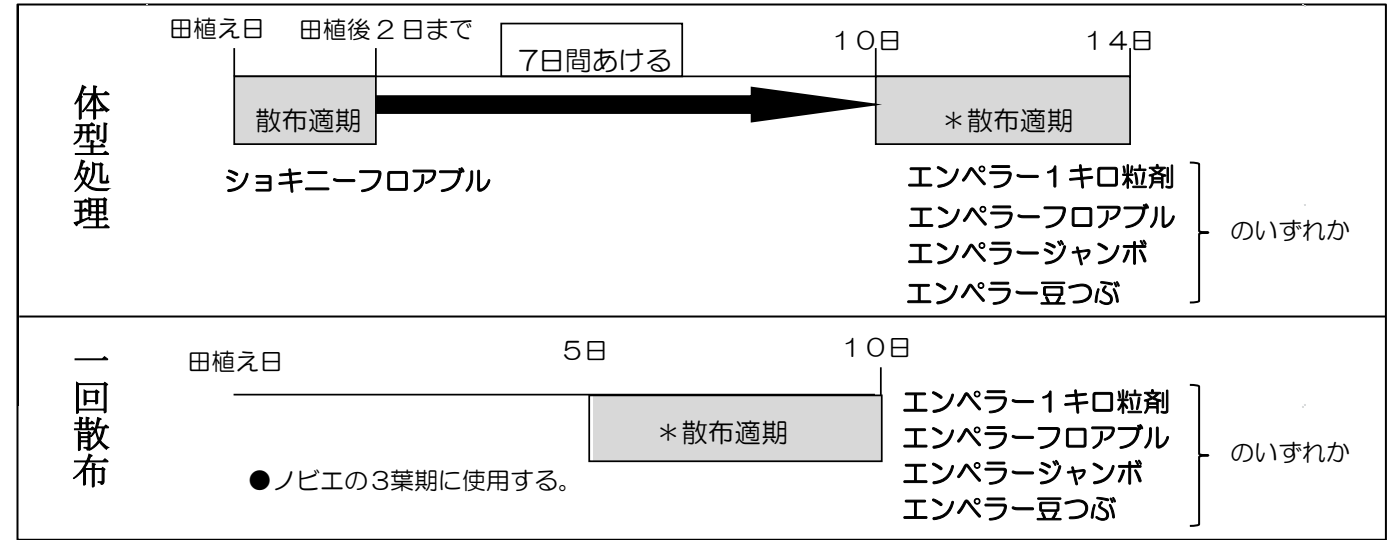


水田に適する除草剤を選んで、効果を高めましょう。

体系防除(2回)：水もちの悪いほ場、雑草が多いほ場、ホタルイやノビエなどの防除が困難な雑草が発生する場合に効果的で、ショキニーフロアブルと下記の除草剤の組み合わせをお勧めします。

【除草剤の散布ポイント】

- ★草の多い・少ないによって、体系処理か一発処理かを選択してください。
- ★晴天の持続する日を選び、水の出入りを止めて湛水状態(水深5cm程度)で田面に均一散布し、散布後3～4日は湛水状態を保ちましょう。また**散布後7日間**は、降雨があっても落水、かけ流しはしないでください。



【農業は身体が資本！“安全”に“健康”に作業を行いましょう！】

・田植え時期を迎え、農作業が大変忙しい時期になってきました。田植機やトラクターなどの大型機械や、草刈り機などの使用する機会が増えてきます。農作業事故等がないように適度に休憩を取って作業を行いましょう。また、6月に入ると気温も上がってきますので熱中症には気をつけて、水分補給と休憩を忘れずに作業を行いましょう。

問 い 合 わ せ 先

加西営農生活センター TEL0790-47-1286	三木営農生活センター TEL0794-82-6150	小野営農生活センター TEL0794-63-6905
-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------

わたしたちは農業、くらしのパートナー。
元気な農業、元気なくらしを応援します。